

25	オリンピック・パラリンピック準備局	ラグビーワールドカップ2019™の準備・開催
事業概要	<p>ラグビーワールドカップ2019™(以下「RWC2019」という。)は、ラグビーのナショナルチーム世界一を決定する世界的な大規模スポーツ大会であり、令和元年9月20日から11月2日まで、東京をはじめ全国12都市で開催される。</p> <p>RWC2019は、スポーツ都市東京を世界にアピールするとともに、都民のスポーツへの関心を高める絶好の機会となる。</p> <p>また、RWC2019の会場となる東京スタジアムは、多摩地域のスポーツ拠点であり、翌年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では7人制ラグビー会場ともなることから、東京におけるラグビーの普及振興を図ることができる。</p> <p>RWC2019と東京2020大会を一体的なものとしてとらえ、両大会共通の課題について戦略的に準備を進めていくことで、RWC2019の取組を東京2020大会につなげていく。</p> <p>RWC2019開催に向けて、オリンピック・パラリンピック準備局は、庁内各局、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会(以下「RWC2019組織委員会」という。)、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、他の開催自治体、都内市区町村などと連携し、大会を成功に導く。</p>	
これまでの経過	<p>平成21年7月28日 ラグビーワールドカップ2019™(RWC2019)の日本開催が決定</p> <p>平成26年10月21日 都がRWC2019の開催都市に立候補</p> <p>平成27年3月2日 都がRWC2019の全国12の開催都市の一つに決定</p> <p>平成27年9月18日 ラグビーワールドカップ2015(RWC2015)が開幕</p> <p>平成27年9月28日 都の開催会場として東京スタジアムが決定し、併せて開会式及び開幕式の東京スタジアムでの開催が決定</p> <p>平成27年10月27日 RWC2019の開催期間が決定</p> <p>平成28年1月29日 RWC2019東京都開催分に伴う経済波及効果の試算を公表(約824億円)</p> <p>平成28年6月18日 ラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)に合わせ、パブリックビューイングを汐留で実施</p> <p>平成28年6月25日 東京スタジアムでラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)が開催、同スタジアム周辺でラグビーフェスティバル2016&TOKYOを開催</p> <p>平成28年9月20日 RWC2019開催3年前を記念し都庁舎等でライトアップ実施</p> <p>平成28年11月5日 ラグビーテストマッチ(日本代表対アルゼンチン代表)に合わせ、フォーリス前けやき広場(府中)でパブリックビューイングを実施</p> <p>平成28年12月24日 RWC2019開幕1000日前イベントを開催及びライトアップを東京タワーで実施</p> <p>平成29年1月7日 ジャパンラグビートップリーグ(サントリーサンゴリアス対東芝ブレイブルーパス戦)で小中高生向け観戦招待を実施</p> <p>平成29年1月11日 RWC2019公認チームキャンプ地に全国で76件90自治体が応募、うち都内では3自治体(武蔵野市、府中市、町田市)が応募</p> <p>平成29年1月27日 ホームページ「東京都ラグビー情報」を公開</p> <p>平成29年2月27日 ラグビー絵本「はじめてのラグビー教室」を作成。都内の公立・私立の小学校や、都立・区市町村立の図書館に配布</p> <p>平成29年3月10日 RWC2019における東京スタジアムの会場運営計画を策定</p> <p>平成29年5月10日 RWC2019のプール組分け抽選会開催にあわせ、都庁舎でパブリックビューイングを実施</p>	

平成 29 年 6 月 24 日	東京スタジアムでラグビーテストマッチ（日本代表対アイルランド代表）開催、同スタジアム西競技場で東京ラグビーファンゾーン 2017 開催
平成 29 年 9 月 18 日	RWC2019 大会 2 年前イベントを東京国際フォーラムで開催及び東京スタジアム等でライトアップを実施
平成 29 年 11 月 2 日	ワールドラグビーのビル・ボーモント会長が都知事を表敬訪問 試合日程及びチケット販売概要発表、試合日程発表会に合わせ、都庁舎でパブリックビューイングを実施
平成 29 年 11 月 4 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対オーストラリア代表）に合わせ、東京ラグビーファンゾーン 2017in 日比谷を実施
平成 29 年 12 月 24 日	ジャパンラグビートップリーグ（サントリーサンゴリアス対東芝ブレイブルーパス戦）で小中高生向け観戦招待を実施
平成 30 年 1 月 19 日	先行チケット抽選販売開始
平成 30 年 1 月 26 日	RWC2019 公式マスコット「レンジー」発表
平成 30 年 3 月 9 日	RWC2019 東京都交通輸送基本計画を策定
平成 30 年 3 月 23 日	RWC2019 公式ボランティアプログラム概要決定
平成 30 年 4 月 1 日	ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会東京地域支部（LOC）設置
平成 30 年 4 月 20 日	RWC2019 公認チームキャンプ地が内定
平成 30 年 4 月 23 日	RWC2019 ボランティア募集開始
平成 30 年 5 月 6 日	大会 500 日前イベントを秩父宮ラグビー場で開催 デイクOUNTERをお披露目
平成 30 年 6 月 16 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対イタリア代表）に合わせ、秋葉原でラグビーパブリックビューイング 2018inTOKYO を実施
平成 30 年 6 月 23 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対ジョージア代表）に合わせ、調布駅前広場等でラグビーパブリックビューイング 2018inTOKYO を実施
平成 30 年 9 月 19 日	チケット一般抽選販売開始
平成 30 年 9 月 23 日	RWC2019 大会 1 年前イベントを銀座ソニーパークで開催
平成 30 年 11 月 1 日	RWC2019 における東京スタジアムの会場運営計画を更新
平成 30 年 11 月 3 日	東京スタジアムでラグビーテストマッチ（日本代表対ニュージーランド代表）開催、合わせて東京ラグビーファンゾーン 2018 を旧 1 0 0 0 days 劇場（現東京スポーツスクエア）で開催
平成 30 年 11 月 9 日 ～10 日	組織委員会と共催でポップアップミュージアムを旧 1 0 0 0 days 劇場（現東京スポーツスクエア）で開催
平成 30 年 12 月 14 日 ～18 日	組織委員会と連携してラグビーワールドカップ 2019 TM 日本大会 RWC2019 ボランティアインタビュー・ロードショーを旧 1 0 0 0 days 劇場（現東京スポーツスクエア）で実施
平成 31 年 1 月 19 日	ニューイヤーイベントとして、日本青年館から、町田市、府中市、三鷹市、武蔵野市、調布市を巡る「東京ラグビーキャラバン」を実施 チケット一般先着販売開始
平成 31 年 1 月 31 日	ファンゾーン開催会場が、調布駅前広場及び調布市グリーンホール、東京スポーツスクエアに決定
平成 31 年 3 月 3 日 ～31 日	東京スポーツスクエアで、RWC2019 TM 東京開催応援フェアを開催
平成 31 年 3 月 10 日	組織委員会と連携してラグビーワールドカップ 2019 TM 日本大会 ボランティアオリエンテーションを世田谷区民会館で実施

	<p>平成 31 年 3 月 20 日 RWC2019 東京都交通輸送実施計画を策定</p> <p>平成 31 年 4 月 13 日 東京スポーツスクエア別館を、「ラグビー情報発信拠点」として新装オープン（4 月 13 日～8 月 31 日）</p> <p>平成 31 年 4 月 23 日 RWC2019 ファンゾーン運営計画（案）を策定</p> <p>令和元年 6 月 7 日 RWC2019 組織委員会と連携して、RWC2019 日本大会ボランティアリーダートレーニングを東京スポーツスクエアで実施（7 日～9 日）</p> <p>令和元年 6 月 13 日 ワールドラグビーCEO が都知事を表敬訪問</p> <p>令和元年 6 月 16 日 大会 100 日前イベントを丸ビル マルキューブで開催</p> <p>令和元年 7 月 5 日 RWC2019 組織委員会と連携して、RWC2019 日本大会ボランティアロールトレーニングを東京スポーツスクエアで実施（5 日～8 日）</p> <p>令和元年 7 月 27 日 ラグビーテストマッチ（日本代表対フィジー代表）に合わせ、町田シバヒロでパブリックビューイングを実施</p> <p>令和元年 7 月 31 日 優勝トロフィー「ウェブ・エリス・カップ」を庁内展示</p> <p>令和元年 8 月 3 日 ラグビーテストマッチ（日本代表対トンガ代表）に合わせ、歌舞伎町シネシティ広場でパブリックビューイングを実施</p> <p>令和元年 8 月 20 日 大会 1 か月前装飾を実施</p> <p>令和元年 8 月 29 日 RWC2019 組織委員会と連携して、RWC2019 日本大会ボランティアベニュートレーニング及びユニフォーム配布を東京スタジアムで実施（29 日～9 月 1 日）</p> <p>令和元年 9 月 6 日 ラグビーテストマッチ（日本代表対南アフリカ代表）に合わせ、調布駅前広場及び日比谷公園にれのき広場でパブリックビューイングを実施</p> <p>令和元年 9 月 12 日 日本ラグビーフットボール協会の森重隆会長が都知事を表敬訪問</p> <p>令和元年 9 月 19 日 RWC2019 日本大会ボランティア（東京会場）が羽田空港で活動開始</p> <p>令和元年 9 月 20 日 RWC2019 開会式及び開幕戦（日本代表対ロシア代表）を東京スタジアムにて実施</p> <p>令和元年 9 月 21 日 ファンゾーン in 東京を多摩会場（調布駅前広場・調布市グリーンホール等）と区部会場（東京スポーツスクエア）で開始 フランス代表対アルゼンチン代表の試合を東京スタジアムで実施 同試合に都内及び宮城県・福島県の子供たちを招待</p> <p>令和元年 9 月 22 日 東京スタジアム西競技場で、宮城県と福島県及び都内においてラグビーに取り組んでいる子供たちの交流会を実施</p> <p>令和元年 9 月 29 日 オーストラリア代表対ウェールズ代表の試合を東京スタジアムで実施。同試合に都内の子供たちを招待</p>
現在の進捗状況	<p>1 試合会場の提供 RWC2019 組織委員会と会場運営計画を取りまとめ、平成 29 年 3 月にラグビーワールドカップ運営受託会社のラグビーワールドカップリミテッドに提出した。平成 29 年度は、スタジアムの改修整備計画を取りまとめ、改修工事の実設計を行い、平成 30 年度は、改修工事を進めるとともに、会場運営計画の更新を行った。令和元年度は、会場運営計画に基づき、競技用照明やメディア席等の仮設設備の整備を行った。</p> <p>2 交通アクセス 平成 28 年 6 月に東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討プロジェクトチームを設置し、2019 年大会時の東京スタジアムへの交通アクセス、試合会場周辺の土地活用について、課題の検討を関係団体と連携し進めている。平成 29 年度は、2019 年大会時の交通輸送に係る基本計画を策定し、平成 30 年度は、各関係機関や各種計画との調整により、項目・内容等を精査し、実施計画を策定した。令和元年度においては、交通輸送</p>

実施計画に基づいて関係機関と連携し、交通輸送分野における開催期間中の運営等に万全を期すとともに、東京スタジアム周辺及び最寄り駅から試合会場までの観客動線等におけるセキュリティ・医療対策を講じ、来場者の安全と、大会の円滑な運営を確保する。

3 公認チームキャンプ地

公認チームキャンプ地は、大会期間中にチームが滞在するキャンプ地で、RWC2019 組織委員会が選定プロセスを一元管理している。都は、誘致主体である都内区市町村に対し、適時適切に相談・情報提供をきめ細かく行うとともに、平成 29 年度は、区市町村によるキャンプ地誘致の取組を支援するため、区市町村スポーツ施設整備費補助を拡充し、公認チームキャンプ地及び事前チームキャンプ地の施設整備のための工事について補助対象とした。平成 31 年 3 月に、RWC2019 組織委員会が公認チームキャンプ地を決定し公表した。都内では、立候補した武蔵野市、府中市、町田市に加え、RWC2019 組織委員会が独自に追加確保した 3 か所が決定している。

4 気運醸成

大会の認知度向上及び大会開催の気運を高めるため、ラグビーに関心のない層をはじめ、多くの都民・国民に興味を持っていただけるように、大会のプロモーションを実施している。

平成 30 年度は、大会開催 500 日前や 1 年前を記念したイベントを実施するとともに、6 月にはラグビーテストマッチに合わせて、多摩・区部でパブリックビューイングを実施した。令和元年度は、大会開催 100 日前イベントを実施するとともに、7 月から 9 月にかけて実施されたラグビーテストマッチ（3 試合）に合わせて、パブリックビューイングを実施した。加えて、大会前から大会期間中にかけて、大会に向けた機運の盛り上げと来訪者のおもてなしのため、街灯フラッグ、横断幕等を掲出するとともに、ホームページ、SNS を活用した積極的な情報発信などを実施している。

5 ファンゾーン

ファンゾーンとは、RWC2019 の開催期間中、各開催都市に設置されるイベントスペースである。平成 31 年 1 月に、ファンゾーン開催会場が、調布駅前広場及び調布市グリーンホール、東京スポーツスクエアに決定した。同年 4 月には、ラグビーワールドカップ 2019TMファンゾーン運営計画（案）を策定し、基本コンセプトや開催日、パブリックビューイング、ステージイベントやラグビー体験、飲食コーナー等のコンテンツを定めた。また、同年 9 月 20 日からファンゾーン in 東京を開始した。

6 ボランティア

RWC2019 組織委員会は、2018（平成 30）年 4 月から 7 月にかけてボランティアの募集を行った結果、全国で 38,000 人を超える応募があった。同年 12 月には、組織委員会と連携してインタビュー・ロードショー（採用面接）を実施し、東京会場では約 2,400 人の採用が決定した。2019（平成 31）年 3 月 10 日には、RWC2019 組織委員会と連携して、オリエンテーションを世田谷区民会館で実施した。また、令和元年 6 月にはボランティアリーダーに必要なスキル・能力を習得していただくリーダートレーニング、7 月には役割ごとの活動内容等を学ぶロールトレーニングを実施し、8 月下旬からは活動当日の 1 日の流れや具体的な活動場所について学ぶベニュートレーニングを実施した。東京会場では、9 月 19 日の羽田空港を皮切りに、会場内、会場周辺、最寄りの鉄道駅、シャトルバス乗降駅、主要アクセス拠点及びファンゾーンで活動している。

今後の見直し	<p>令和元年 11 月 2 日 RWC2019 閉幕</p> <p>庁内各局、RWC2019 組織委員会及び関係団体と連携し、試合会場の提供、交通アクセス、セキュリティ、ファンゾーン、ボランティアなどの大会運営を着実に進めることで、大会を成功に導き、東京 2020 大会の準備の総仕上げにも弾みをつけていく。</p>		
問い合わせ先	オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部 調整課	電話	03-5320-7790